



週報 第3019回

会長 藤野 修次 副会長 藤原 重行
幹事 寺田 敏也 SAA 泉谷 仁博



泉大津ロータリークラブ
Izumiotsu Rotary Club

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501
メールアドレス izumiotsu-rc@ioctv.zaq.ne.jp
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会 (2019年2月22日)

■ プログラム

クラブフォーラム
八木 秀富 国際奉仕部門担当理事

■ 次週のプログラム

3月1日: クラブフォーラム
中 透 会長エレクト

■ 今後の予定

3月8日: 卓話担当
砂原 孝史 会員

■ 祝 誕生日

根尾 玲子 (25日)

■ 今月のロータリーソング

四つのテスト

■ 先週の例会

会長の時間

先週の分区7の合同例会にたくさんのメンバーが出席して頂き、有り難うございました。今日は、大阪府議会議員の大橋先生をお招きしています。大橋先生におかれましては新年何かとお忙しい中、泉大津ロータリークラブの例会に来て頂き誠に有り難うございます。大橋先生のお話は新年何回かお聞きしましたが、今年の大阪は、G20 や選挙それに 2025年の大阪万博の開催など色々と話題の多い年・地域になっていますので、裏話などを交えての卓話を楽しみにしていますので、宜しくお願い致します。今日は、4月14日に家族例会が京都で開催されますが、先日の新聞にお茶屋さんの記事が載っていましたので、紹介させていただきます。「京都・花街の引力」と題で、五花街のうち祇園甲部と祇園東は八坂神社の門前町として栄えた地域にあり、江戸時代、お茶や菓子を出す茶屋が出来たのが起源とされています。やがてお酒やつまみを提供するようになり、舞や唄で客をもてなす形に変化したそうです。宮川町は歌舞伎が発祥した鴨川の四条河原に近く、狭い路地で知られる先斗町は鴨川の西側にあります。一つだけ離れた場所にある上七軒の起源は、約570年前の室町時代に遡るとも伝わっています。近くの北野天満宮の一部が火災で焼失し、社殿の修復で余った木材を使って門前に七軒の茶屋が建てられたと云われています。五花街の規模は、お座敷を提供するお茶屋128軒、芸奴174人、舞妓73人、各花街には、春と秋に舞踏公演を開催する歌舞練場



藤野 修次 会長

今月の歌

ペチカ

雪の降る夜は 楽しいペチカ
ペチカ燃えろよ お話しましょ
昔 昔よ 燃えろよ ペチカ

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3019回

などの施設や、芸舞妓が舞踏や三味線などの楽器、茶道などを学ぶ学校もあるそうです。芸舞妓の年間の総売り上げについて、試算したところ、一人が一日三つか四つの宴席を廻り、10万円を稼ぐと想定し、年間の稼働率を70パーセントとして、総人数のかけると、50億円稼ぐと云われています。まだそれに、お茶屋での料理代や舞踏公演の入場料収入を合わせるとさらに膨らむそうです。

幹事報告 寺田 敏也 幹事

なし

委員会報告

なし

■ 祝 誕生日

寺田 敏也 (13日)
藤原 重行 (15日)
山本 博章 (15日)



■ ビジター

なし

■ メークアップ

榎本 (2/8 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
前山 (1/18 親睦活動委員会)

■ 出席報告 会員数43名 出席免除0名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
2/15	33名	10名	—	76.74%
2/1	33名	10名	2名	81.40%

■ ニコニコ箱

- ・大橋先生、本日来会ありがとうございます。特別卓話よろしくお願ひ致します(藤野)
- ・大橋先生、本日よろしくお願ひします(寺田)
- ・大橋先生、本日よろしくお願ひします(山本(博))
- ・大橋様、ご苦労様です(松内)
- ・大橋先生、卓話ありがとうございます(深井)
- ・大橋先生、本日卓話有難うございます(釜野)
- ・合同例会で中さんに大変お世話になりました(平山)
- ・中先生にお世話になりありがとうございました(林)
- ・丹農様にお世話になりました(藤原)
- ・早退のおわび(瀧谷)
- ・早退のおわび(今井)

ニコニコ箱合計	19,000円
累計	600,000円

先週のプログラム 「2025年 大阪・関西万博 ~交通アクセスについて~」



特別卓話
大阪府議会議員
大橋 一功 様

1-1 2025年 大阪・関西万博のテーマ

テーマ: いのち輝く未来社会のデザイン
「Designing Future Society for Our Lives」

サブテーマ: ◆多様で心豊かに暮らす生き方
◆持続可能な社会・健康システム
=「食料」「交通」「経済」「科学」「技術」「多様な文化・芸術」を通じて、
チーム・サテライトで基本理念を実現できる万博とする。

基本理念: 「参加者と共に創りあげる万博」
→一人一人のいのちが輝く生き方
→それを可能にする社会・経済の未来像を提示

1-2 開催概要

EXPO 2025 OSAKA, KANSAI, JAPAN

開催期間: 2025年5月3日(土) ~ 11月3日(月)までの185日間

開催場所: 豊洲(人工島) 約155ha

入場者(想定): 約2,800万人

開催経費: <会場建設費> 1,250億円(想定)
<運営費> 820億円(想定)

1-3 会場構想(1) (会場計画)

■会場計画のコンセプト: 未来社会
・ポロイ化(ターゲティング)
・あえて中心をつらぬかない開放型の会場デザイン
・多様性の中心が生まれる副都心
・共同によって形成される未来社会を表現

■会場デザイン
・会場内の分断「空」(つ)と
・併走する巨大な歩道
・AR (拡張現実) や
・MR (複合現実) 技術を活用した
展示やイベントを鑑賞
・来場者の交流の場となる

1-4 会場構想(2) (あさつ万博のイメージ)

■「待ち時間ゼロ」の万博
会場内の移動時間を活用した
会場運営を支援する万博
・体験あふれる環境を提供
・IoT活用により、施設の空き状況を可視化し、
会場を快適に過ごせることができる

■EXPOテーマ体験「EXPO」プログラム
・会場内「People's Living Lab」特設サイト上の
デジタル空間で出現する
・本場へのリアルタイムなアクセスを通して、
チームやセッション体験や展示を中心に紹介
・未来社会の発展の体感ができるプログラムを実施
→「10億人を超える万博」に健康になる
万博「あさつ」

2 2025年万博開催に向けた概略スケジュール

2021年: 万博開催に向けた概略スケジュール
2022年: 万博開催に向けた概略スケジュール
2023年: 万博開催に向けた概略スケジュール
2024年: 万博開催に向けた概略スケジュール
2025年: 万博開催に向けた概略スケジュール

3-1 万博会場までの輸送計画

会場までの輸送計画
会場までの輸送計画
会場までの輸送計画

3-2 輸送インフラの整備計画

輸送インフラの整備計画
輸送インフラの整備計画
輸送インフラの整備計画

3-3 北港テクノポート線

北港テクノポート線
北港テクノポート線
北港テクノポート線

3-4 海上交通の現状① (大阪港)

海上交通の現状① (大阪港)
海上交通の現状① (大阪港)
海上交通の現状① (大阪港)

3-5 海上交通の現状② (神戸港)

海上交通の現状② (神戸港)
海上交通の現状② (神戸港)
海上交通の現状② (神戸港)